

1. 明るい未来に向けて、新型コロナウイルス感染症対策を

昨年末に確認された新型コロナウイルスは潜伏性が高い特性から全世界に感染を拡大し、パンデミックを引き起こした。これに対し、世界各国で対策が講じられることとなった。

日本では、今年2月に「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針」が示され、県でも「新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた県の基本方針」が示された。

本町でも、これらの方針に沿って「新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた開成町の基本方針」を定め、対策を講じてきた。対策にあたっては、新たな事業へ取り組む一方でイベントなど執行できない事業もあり、予想していなかった事態に本町の行政運営も大きな影響を受けている。

いまだコロナの終息の見通しが立たない中で、これまでの運営状況を整理し、明るい未来に向けて対策を講じる必要があると考え、町の見解を問う。

- ① 令和2年度の約半年間が過ぎたが、新型コロナウイルス感染症対策事業費の執行状況は。また、中止となった事業の執行残をどのようにするのか。
- ② 令和2年度下半期の財政、事業の見通しは。
- ③ コロナ禍における財政の今後の見通しと行政運営（第五次総合計画）への影響は。
- ④ コロナ禍における教育関連への支援策は。